

## 地域とのコミュニケーションの実施状況

令和7年11月28日

南 城 市

## 1 実施概要

- 公共交通計画に利用者や市民の意向を把握するため、オープンハウスとワークショップを開催しています。
- オープンハウスは、市民や観光客を対象に4回開催しました。ワークショップは、11月15日に第1回を開催し、12月に第2回、1月に第3回を開催する予定です。

表1 オープンハウスの開催状況

回数	開催日時	開催場所	アンケート回答者数
第1回	令和7年8月10日(日) 10:00~16:00	南城市役所 (Nバス祭りの会場で実施)	46
第2回	令和7年10月11日(土) 10:00~16:00	がんじゅう駅	34
第3回	令和7年10月26日(日) 10:00~16:00	イオンタウン南城大里	39
第4回	令和7年11月16日(日) 12:00~17:00	南城市役所 (南城市まつりの会場で実施)	24

表2 ワークショップの開催概要(案)

回数	開催日時	グループワークのテーマ	参加者数
第1回	令和7年11月15日(土) 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"><li>・もし南城市に公共交通がなかったら?</li><li>・南城市の公共交通を診断してみよう</li></ul>	13
第2回	令和7年12月14日(日) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"><li>・よりよい公共交通のための取組を考える</li></ul>	
第3回	令和8年1月18日(日) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"><li>・取組の優先順位と具体的な取組の内容を考える</li><li>・取組を進めるための市民や企業、交通事業者、行政等の役割を考える</li></ul>	

## 2 オープンハウスの実施概要

### 2.1 実施概要

- オープンハウスでは、南城市の公共交通に関する現状や課題、今後の取組方針と具体的な取組について知っていただくため、パネル展示を行いました。
- また、移動に関して困っている点や、公共交通に対する要望等を把握するため、聞き取り調査も合わせて実施しました。

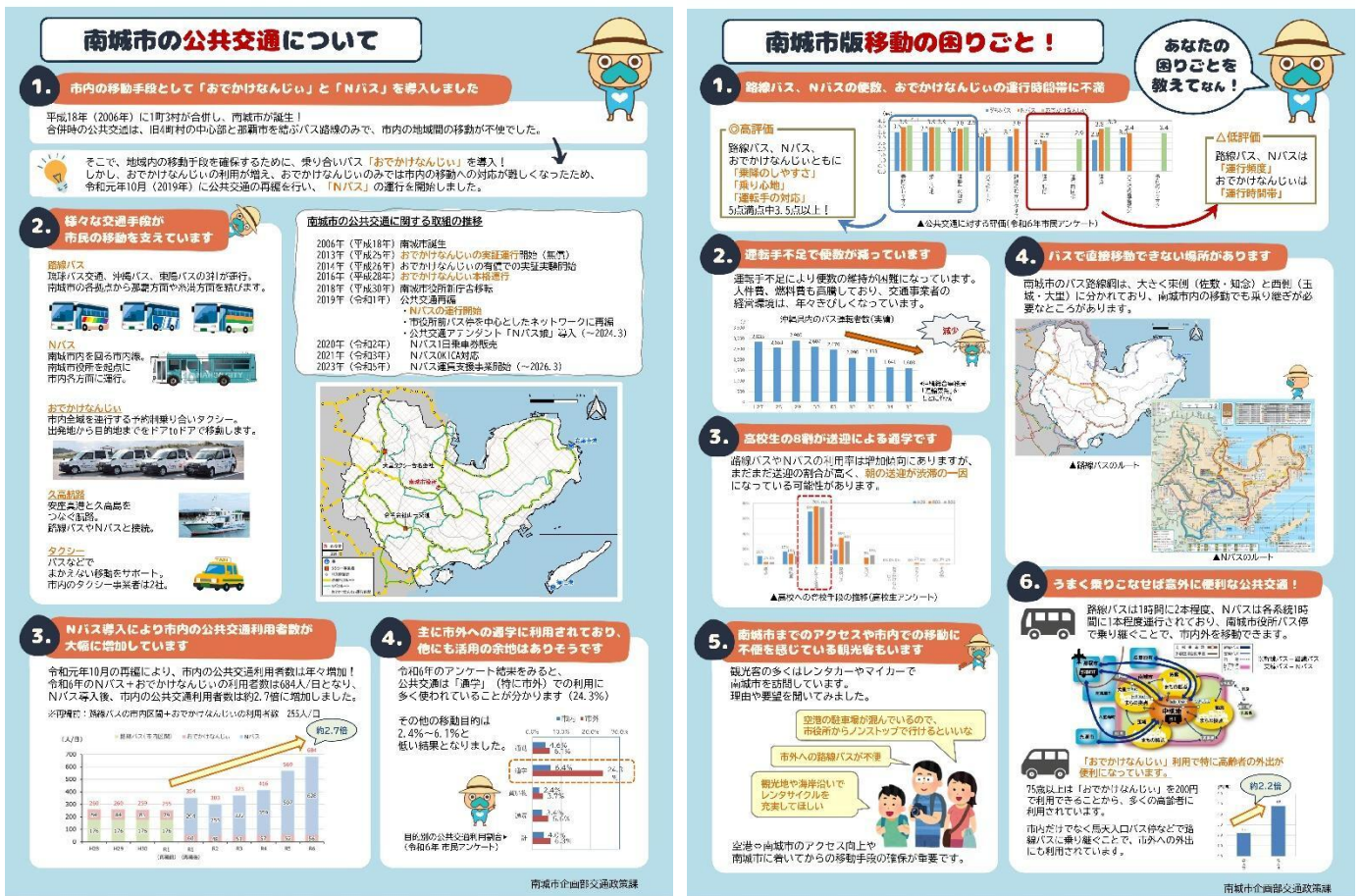


図 1 オープンハウスで展示したパネル(左:公共交通の概要、右:公共交通の課題)

## 南城市の交通将来イメージ

### 1. 南城市役所を中心に各拠点を結ぶ将来ネットワーク



- 中心拠点 (南城市役所)**  
市の中心的な交通拠点を、路線バス、Nバスの起終点として、市内外の乗り継ぎを支えます。公共交通を利用してもらうため、駐車場や自転車置き場に加え、シェアサイクル等の二次交通も接続します。
- 副拠点 (大里地域、佐敷地域、つきさし地域)**  
中心拠点を結ぶ交通結節点。路線バスとNバスが接続し、市内外の乗り継ぎを支えます。
- 地域拠点 (知念地域・玉城地域)**  
地域の中心的な交通結節点。複数の路線バスやNバスの路線が接続し、地域内の乗り継ぎを支援します。
- 拠点を結ぶ (交通案内、自転車、徒歩、乗用タクシー、ミニバス、馬車、空路)**  
複数の交通手段を乗り継ぐことができる交通ネットワーク。

**交通結節点とは「Nバス⇒路線バス」など、複数の交通手段の接続が行われる場所のことなん!**

### 2. 地域交通の役割

**役割① 南城市と市外を繋ぐ**  
市民の移動ニーズが高い那覇市中心部や那覇空港、周辺の与那国町、南風原町、八重瀬町などの市外と市内を結ぶ役割とともに、市外からの来訪を促し、地域の活性化を図る役割が求められます。

**役割② 市内の身近な移動を支える**  
市民の日常生活における買物や通学などの身近な移動を支える役割が求められます。身近な移動を公共交通で支えることで、市民の活動の活性化、健康増進などの社会的効果も期待されます。

**役割③ 都市の骨格を形成する**  
コンパクトで暮らしやすいまちづくりを進めるため、幹線的な公共交通を軸としたまちづくりが求められます。

**役割④ 誰でも移動しやすい環境をつくる**  
高齢者や高校生、市外からの来訪者などが市内をスムーズに移動できる環境づくりが求められます。誰もがスムーズに移動できる環境を整えることは、定住促進や、観光客の来訪促進にもつながります。

**役割⑤ 道徳市に人の流れを生み出す**  
公共交通の利便性を高めることで、新たな移動ニーズを生み出し、市の活性化に寄与することが期待されます。

### 3. 地域交通の課題と対応方針

課題	対応方針
課題① 交通軸・交通拠点の形成・強化	1-1. 中心的都市拠点と各拠間の連絡を確保・維持する 1-2. 隣接する拠点を結ぶ路線を導入する 1-3. 各地域の中心や乗り継ぎ地点に交通拠点を整備する 1-4. 交通拠点へのアクセスを改善する
課題② 市内外の移動ニーズに応じた交通網の導入	1-1. 交通軸・交通拠点における移転の計画 2-1. 交通不便地域における移動手段の導入可能性を検討する 2-2. 交通空白地域における移動手段の導入可能性を検討する
課題③ 交通不便地域・交通空白時間における移動利便性の向上	3-1. 公共交通への転換や継続的な公共交通利用を促す 3-2. 拠点に備え公共交通の運営体制を強化する
課題④ 地域交通の利用促進に向けた利便性向上	
課題⑤ 将来を予測した地域交通の確保・維持・改善	

## 南城市の今後の取組イメージ

### 1. 公共交通と拠点の充実・保衛

**中心拠点と各拠間の連絡を確保・維持**

- ◆ 路線バス及びNバスによる拠間連絡強化
- ◆ 隣接拠点を結ぶ路線を導入

**隣接する市内の拠点を結ぶ路線を導入**

- ◆ 隣接拠点を結ぶ路線の導入を検討

**各地域の中心や乗り継ぎ地点に交通拠点を整備**

- ◆ バスターミナルの整備検討
- ◆ 市役所バス停のアップグレード
- ◆ 大里地域での交通結節点の整備検討
- ◆ 地域拠点、乗り継ぎ拠間における付帯環境の整備
- ◆ 交通拠点における接続ダイヤの改善
- ◆ 拠点でのシェアサイクルの導入
- ◆ 拠点でのカーシェアの導入

**交通拠点へのアクセスを改善する**

- ◆ 交通不便地域における交通結節点へのアクセス方策の検討
- ◆ 大里地域の移動ニーズに対応した路線延伸
- ◆ 那覇空港への直行バスの導入検討

**「バスターミナルの整備」イメージ**

- ◆ 市の中心部にバスターミナルを整備し、市内外を結ぶ様々な交通手段の乗り継ぎができるようにします。
- ◆ バスターミナルとあわせて、市の活性化や市民の活動の場となる施設を併設します。
- ◆ 案内所や待合スペース、サインなど公共交通利用のための機能を充実させます。



**「シェアサイクルの導入」イメージ**

- ◆ 南城市役所をはじめ、各地の交通拠点にシェアサイクルを導入し、バスを降りてからの移動手段を確保します。



**「那覇空港への直行バス」イメージ**

- ◆ 那覇空港まで乗継なしでアクセスできる直行バスを導入します。



### 2. 交通空白における移動の確保

**交通不便地域における移動手段の導入可能性を検討**

- ◆ 電動カートや電動小型バス等の導入検討
- ◆ 地域主体の新たな移動サービスの導入検討

**交通空白時間における移動手段の導入可能性を検討**

- ◆ 夜間の移動手段の導入検討
- ◆ はな金バスの運行検討
- ◆ タクシーを活用した外出支援策の検討

*ね、タクシーがつかまらぬよ〜*

### 3. 持続可能性・実現可能性の確保

**公共交通への転換や継続的な利用を促す施策を実施**

- ◆ Nバス及びおかけなんじいの運行計画の改善
- ◆ 導入者や曜日・時間帯を限定した乗り放題型乗車の販売検討
- ◆ 運賃無料送迎乗客への特典付与
- ◆ 交通場外予約の活用
- ◆ 利用促進イベントの実施
- ◆ 乗継割引の導入検討

**将来に備え公共交通の運営体制を強化**

- ◆ 二種免許取得に対する支援
- ◆ Nバス及びおかけなんじいの継続的な運営改善
- ◆ 空回再編成の検討
- ◆ 拠点に人が集まる仕組みづくり

**「拠点に人が集まる仕組みづくり」イメージ**

- ◆ 交通拠点に、人々が日常的に利用する施設・機能を集約することで、路線バス等の利用促進や維持を図ります。



図 2 オープンハウスで展示したパネル(左:基本方針、右:施策メニュー案)

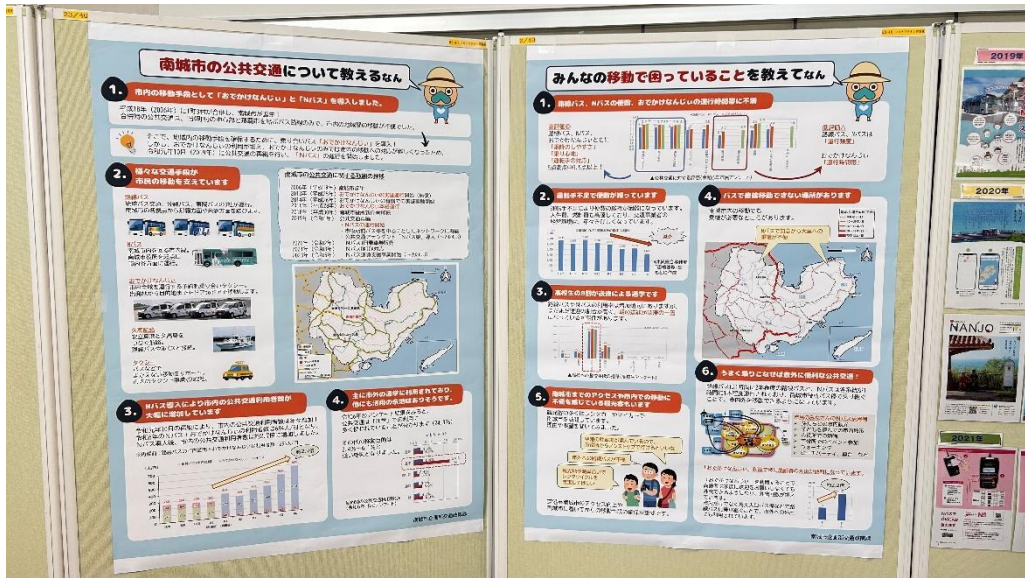


図 3 オープンハウスの様子(Nバスまつり)

## 2.2 オープンハウスでの意見

●聞き取り調査では、移動が不便な状況や、取組に関するアイデアなどいろいろな意見をいただきました。

### 【普段の移動で困っている点・不便な点】

- バス本数が少なく時間が合わない（南城市古堅・高校生/八重瀬町・10代）
- バス停が遠い・混雑で乗れないなど利用しづらい（浦添市・40代/南城市新開・小学生）

### 【バス路線に関する要望・アイデア】

- 本数増・運行時間延長・エリア拡大など利便性向上を希望（南城市古堅・40代/南城市仲程・70歳以上）
- 病院・商業施設・南部医療センター・空港などへの直行や乗継改善を希望（浦添市・40代/南城市大里・小学生）

### 【乗り場・案内等に関する要望・アイデア】

- ルート・乗継・時刻が分かりづらく情報不足（南城市平良・20代/南城市船越・40代）
- 乗り方の不安、アプリ情報の古さなどで利用ハードルが高い（与那原町・小1保護者/南城市大里・20代）

### 【運賃に関する要望・アイデア】

- 運賃への助成があると利用しやすい（八重瀬町・40代）
- 決済手段の多様化や高齢者向け回数券があると安心（北中城村・40代）

### 【将来の移動に関する不安】

- 免許返納後の移動手段が不安（特に那覇方面）（南城市大城・70歳以上/八重瀬町・60代）
- 子どもの将来の通学や家族の送迎負担への不安（八重瀬町・40代/南城市親慶原・30代）

### 【那覇空港までの直行バスに関する要望・アイデア】

- 空港直行バスがあれば利用したい（南城市古堅・40代/那覇市・60代）
- P&Rの存在・利用方法が知られていない（周知不足）（南風原町・30代/南城市船越・40代）

### 【その他】

- イベントや地域情報と組み合わせた公共交通の利用促進（糸満市・30代/南城市大里・40代）
- 生活密着の移動環境改善（自転車道整備・夜バスなど）（南城市大里・20代/南城市親慶原・30代）

### 3 ワークショップ

#### 3.1 実施概要

##### (1) 目的と位置づけ

交通計画の策定にあたり、利用者の地域の意向を反映するために開催し、交通計画策定にあたっての市民などの意向把握の場として位置づけます。ワークショップは計画策定のステップにあわせて、3回開催し、その都度結果を計画素案に反映します。

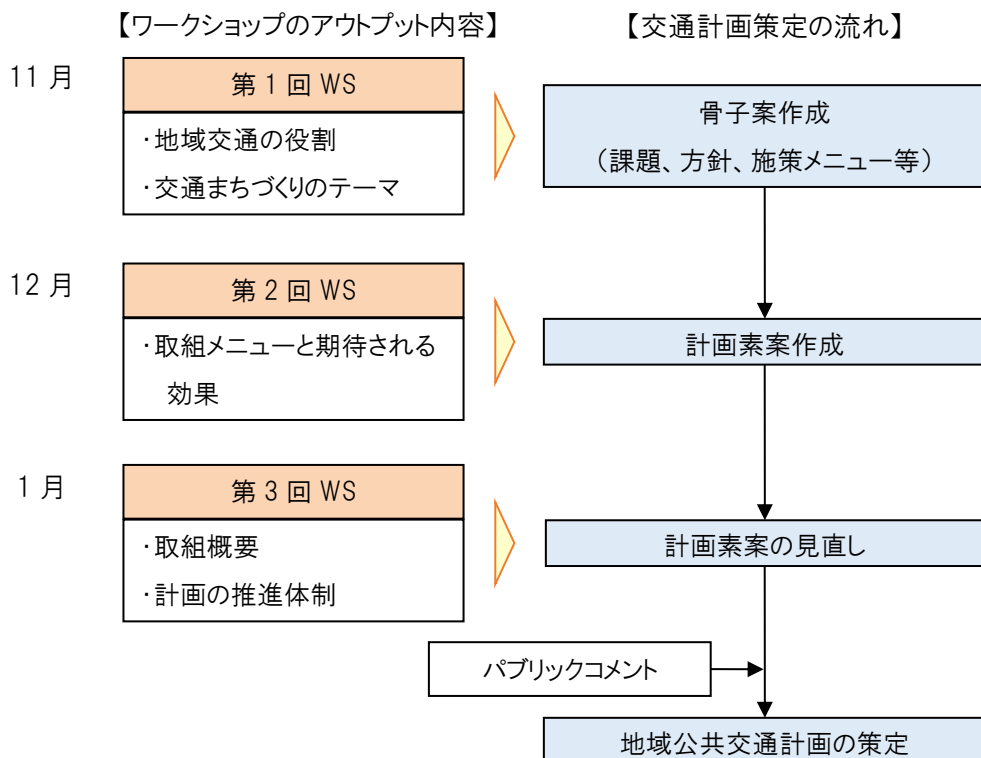


図 4 ワークショップのアウトプットと交通計画との関係

##### (2) ワークショップの基本的な考え方

- 今回のワークショップは、公共交通に関する利用者や地域の意向を把握を目的に開催するものであり、グループの意見を集約して、ワークショップ案を提示することを目的とせず、発散した意見をできるだけ拾えるように進めていきます。
- ワークショップ参加者の南城市や、南城市の公共交通について認識状況に差があることが想定されることから、適宜、関連する情報提供を行いながら進めていきます。
- 参加者は市民に限定せずに、南城者や公共交通に関心のある方の参加を広く募ります。

### (3) ワークショップの進め方

- ワークショップは、1 グループ 5~8 人を目安に、参加人数に応じて適宜グループに分かれて実施します。
- 参加者に、できるだけ多くの気づきを得てもらうため、グループのメンバーは、性別、年代、居住地などの属性が極力ばらつくように配置します。
- ワークショップは全体で 3 回開催します。
- 継続的に議論を積み上げていくため、グループのメンバーは基本的には固定とします。ただし、スポットでの参加も受け付けます。
- 各グループには進行をサポートする進行役を配置します。
- 各回のワークショップは基本的に以下の流れで実施します。  
情報提供 → 各グループでのワーキング → 発表会及び意見交換
- 各回のワークショップの時間は、2 時間前後を予定しています。

## 3.2 第1回ワークショップの実施状況

---

### (1) 実施プログラム

第1回ワークショップは、以下のプログラムで実施しました。

【時刻】	【時間】	【内容】
13:30		受付開始
14:00	5分間	1.開会（主催者挨拶）
14:05	5分間	2.地域交通ワークショップについて
14:10	15分間	3.南城市と公共交通の現状について
14:25	5分間	4.第1回ワークショップの進め方について
14:30	5分間	5.自己紹介（グループ内）
14:35	30分間	6.グループワーク① 「もし南城市に公共交通がなかったら？」
15:05	10分間	== 休憩 ==
15:15	40分間	7.グループワーク② 「南城市の公共交通を分析してみよう」
15:55	5分間	発表準備・休憩
16:00	15分間	8.発表会
16:15		9.閉会

(2) グループワーク①「もし南城市に公共交通がなかったら？」

公共交通の役割をあらためて認識していただくため、もし、市内に公共交通がなかった場合、どのような影響があると思うかについて、付箋紙に書き出していただき、順次、発表、模造紙に貼り付けてもらいました。

模造紙には、あらかじめ、利用者、利用者以外の市民、地域の企業や観光地と影響を受けるとされる主体を記載し、多様な視点で影響を考えてもらえるようにします。はじめに、高校生、一人暮らしの高齢者、観光業者など役柄を示したカードを準備し、参加者にカードを引いてもらい、その役柄の視点で直接的な意見を言っていただきました。ある程度意見が出たら、役柄の設定に縛られず、自由に意見を出していただきました。

最後に、想定される影響をみながら、公共交通の役割について考えてもらいました。

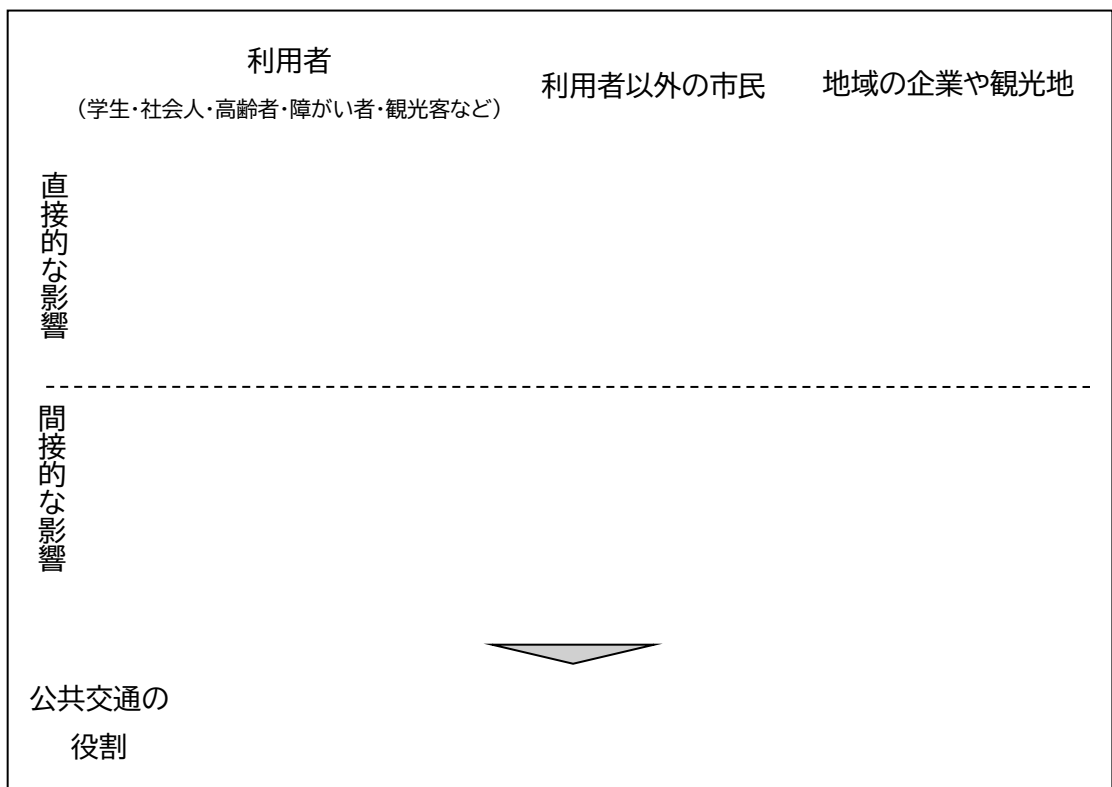


図 5 グループワーク①の模造紙イメージ

市外に通学する高校生	運転できない一人暮らしの高齢者	高校生の子どもを持つ4人家族のお母さん	那覇市に通勤する運転できない若い男性
沖縄の歴史や文化を学びに来た留学生	リゾート大好きな運転できない観光客	市内の観光施設事業者	市内への進出を検討している大企業

(3) グループワーク②「南城市の公共交通を診断してみよう」

南城市における交通の現状を認識していただくため、はじめに、南城市の公共交通の長所を赤の付箋紙に、短所を青の付箋紙に書き出してもらい、順次発表、意見交換、意見の追加という流れで、洗い出していきました。

次に、記載してもらった付箋について、グループワーク①で整理した公共交通の役割をみながら、利用者から見た重要性について意見交換を通じて整理し、模造紙に配置してもらいました。

最後に、模造紙に整理した長所、短所から今後の南城市の公共交通のテーマ・課題について話し合い、模造紙に出た意見を整理してもらいました。

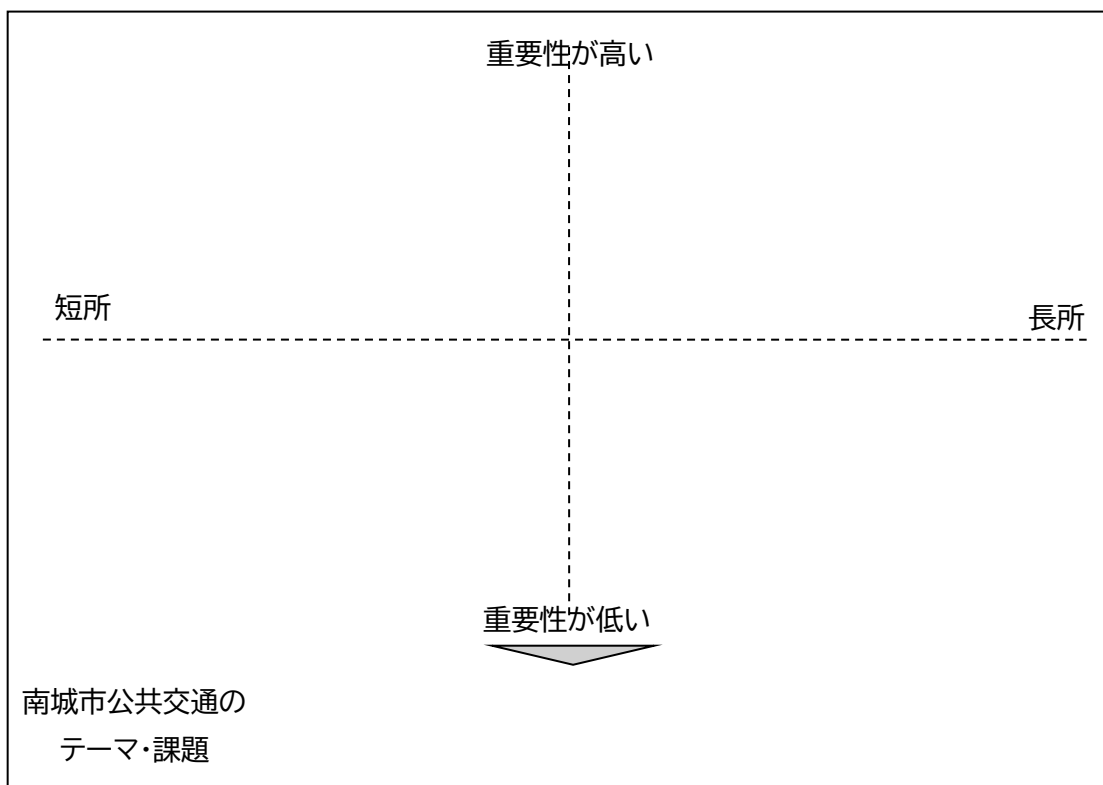
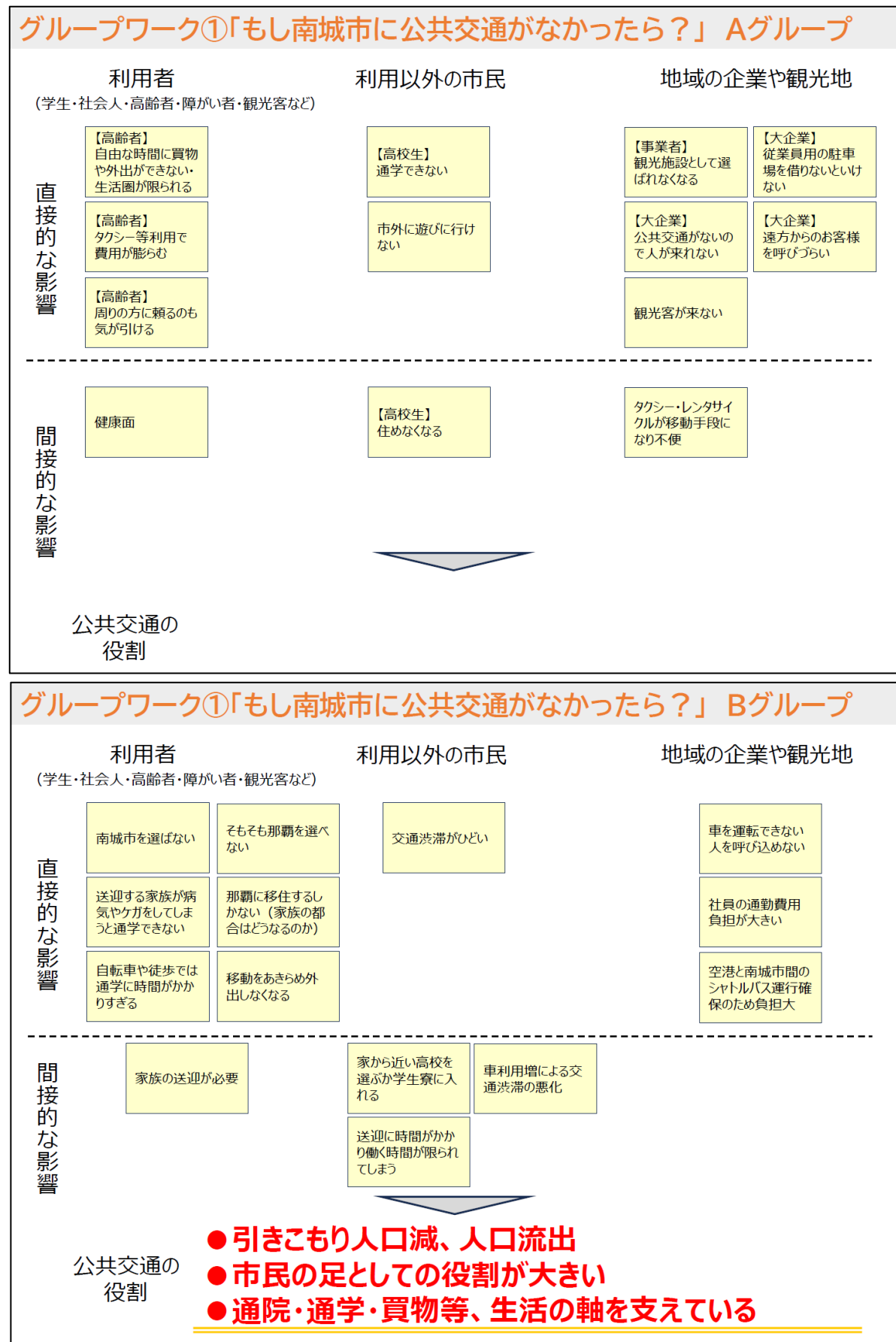
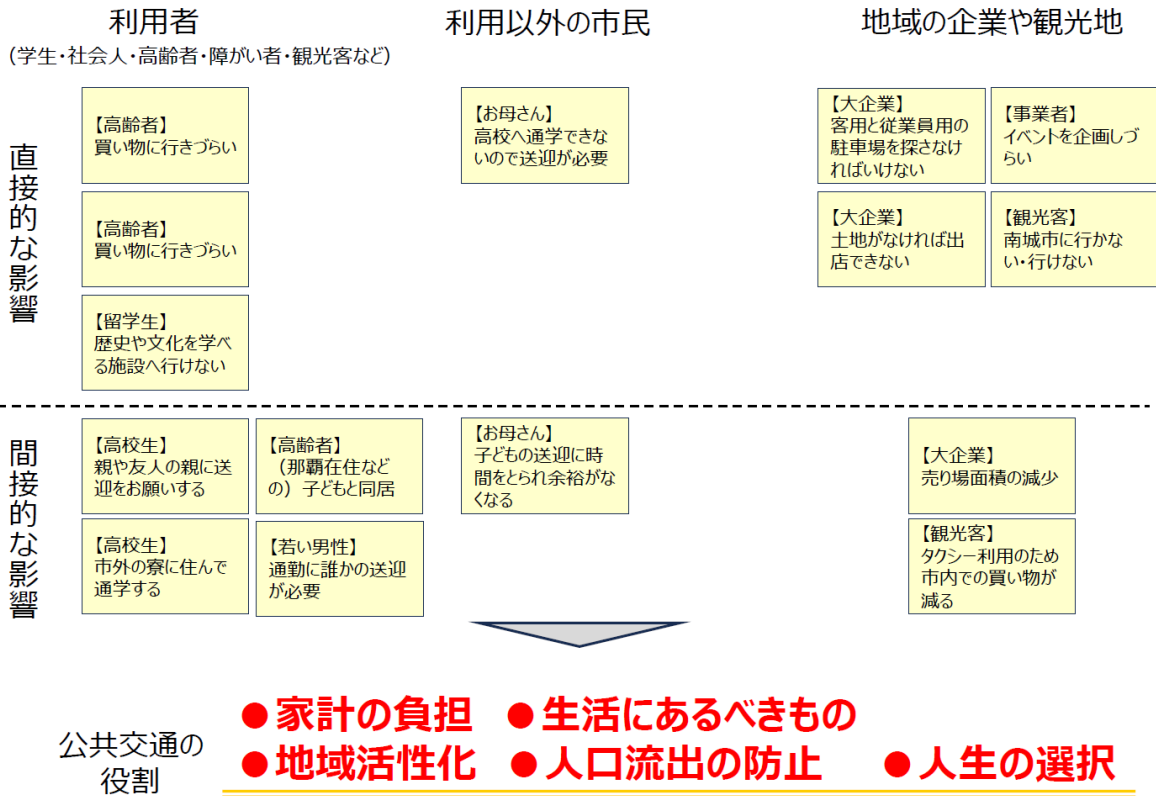


図 6 グループワーク②の模造紙イメージ

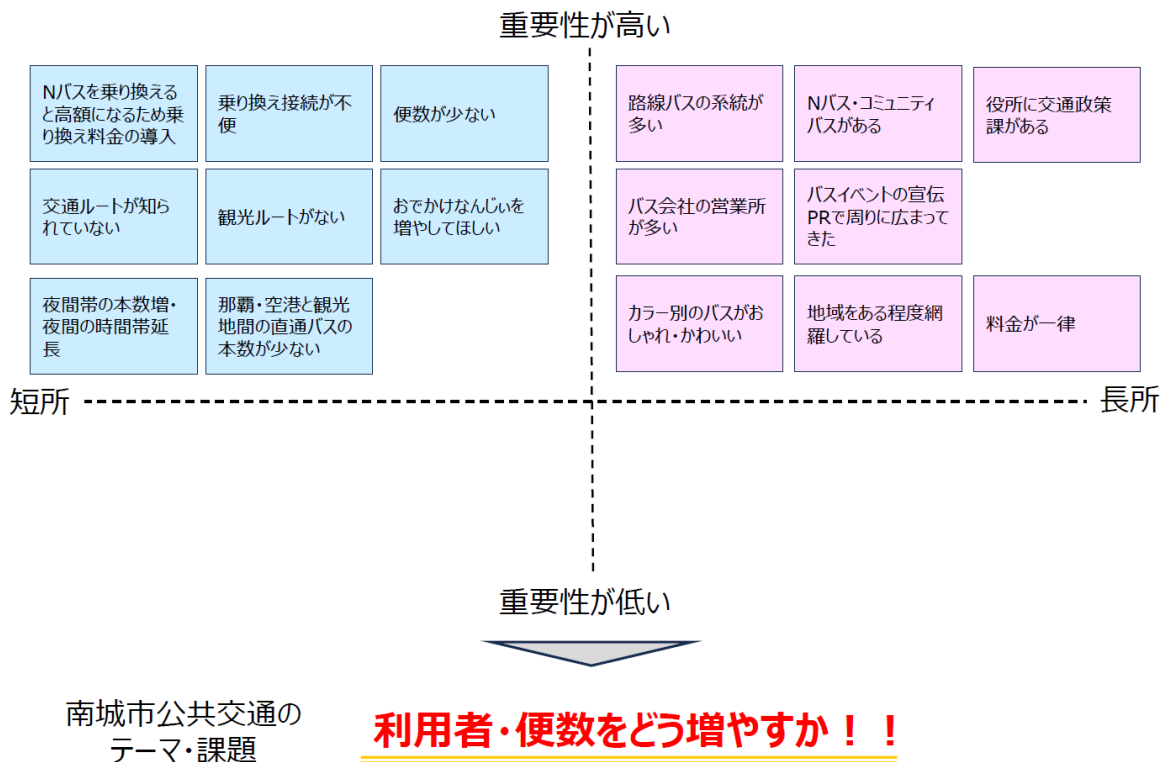
(4) グループワークの結果



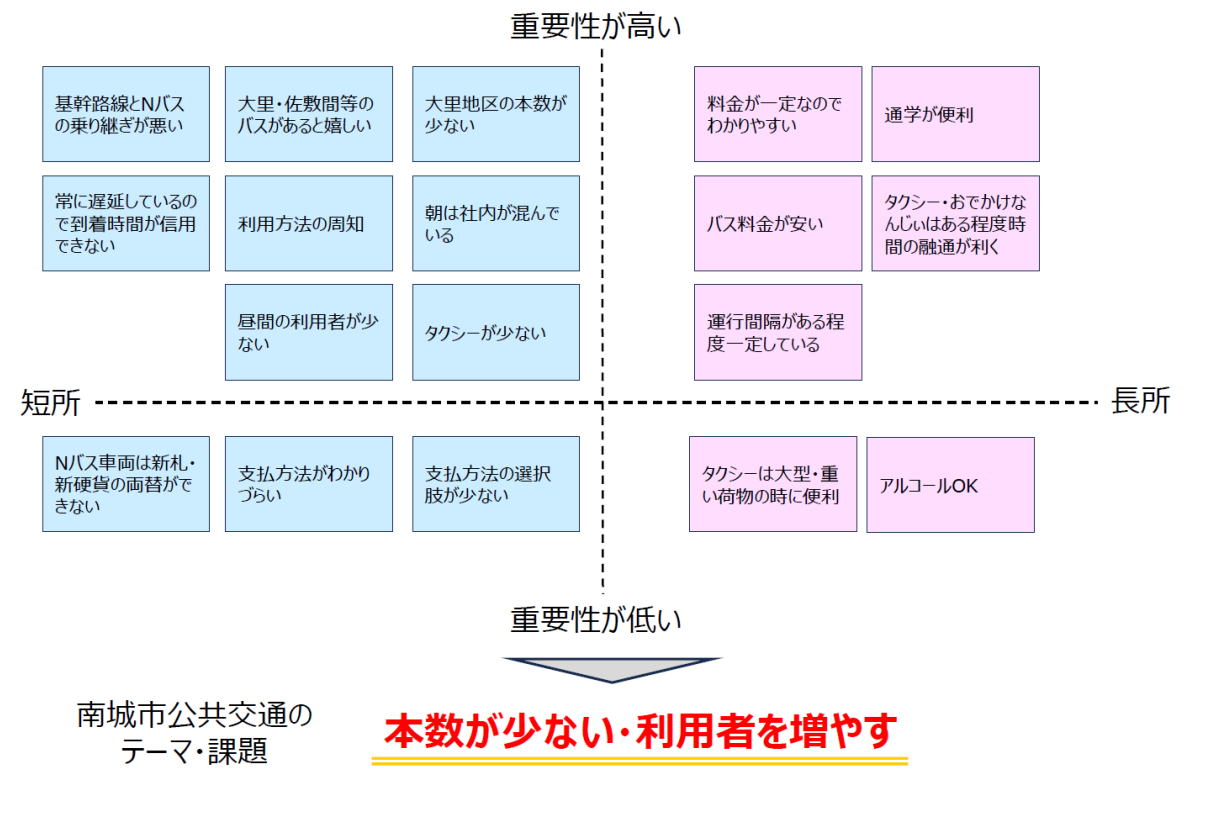
## グループワーク①「もし南城市に公共交通がなかったら？」 Cグループ



## グループワーク②「南城市の公共交通を診断してみよう」 Aグループ



## グループワーク②「南城市の公共交通を診断してみよう」 Bグループ



## グループワーク②「南城市の公共交通を診断してみよう」 Cグループ

